

AutoCAD 2014 プレビュー ガイド

AutoCAD 2014 をご利用いただきありがとうございます。『プレビュー ガイド』に関するご意見やご提案は、heidi.hewett@autodesk.com にご送信ください。



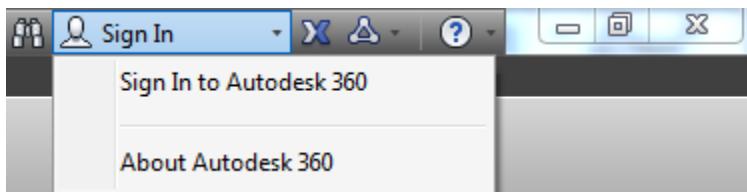
周囲のあらゆるものをデザインできる、強力でクラウド接続された設計ツールである Autodesk® AutoCAD® は、世界をリードする 2D および 3D 設計アプリケーションの一つです。想像可能なほとんどの形状を作成可能な AutoCAD の 3D ツールを利用すれば、直感に魅力的なデザインを作成する手助けとなります。設計の効率と速度を向上させるだけでなく、より安全で正確、かつ、スムーズに他のユーザーと設計を共有できます。クラウドに接続してデザインコラボレーション作業をおこない、モバイル デバイスからアクセスすることもできます。これら AutoCAD の機能により、ドキュメントや設計に必要な機能と柔軟性を実現します。

目次

操作方法	3
コマンド ライン	3
ファイル タブ	7
画層管理	9
外部参照の機能強化	10
デザインの探求	11
地理的位置	11
リアリティ キャプチャ	16
ドキュメント	21
図面の機能強化	21
注釈の機能強化	21
接続	22
設計フィード	22
カスタマイズ	24
オペレーティング システム	24
Exchange Apps	25
ヘルプ ブラウザのプロキシ サーバ	26
セキュアロード	26

はじめに

AutoCAD は、クラウドやソーシャル メディア、モバイルへのアクセスで「繋がる」利便性を享受できるデザイン アプリケーションです。AutoCAD 2014 ではプラットフォームに関係なくシームレスに作業が可能なばかりでなく、プロジェクト関係者とオンラインでコラボレーションしたり、どこにいても AutoCAD の機能を利用することができます。ドキュメントをオンラインで共有するには、Autodesk アカウントにサインインします。



Autodesk 360 アカウントを持っていない場合は、[サインイン]ダイアログ ボックスで[Autodesk ID が必要ですか?]を選択し、必要な情報を入力してアカウントを作成できます。アカウントの作成は、無償です。



コマンドライン インターネット検索、Autodesk Live Map、統合された設計フィード、Exchange App ストアにアクセスできる強力な機能を利用できます。

操作方法

コマンドライン

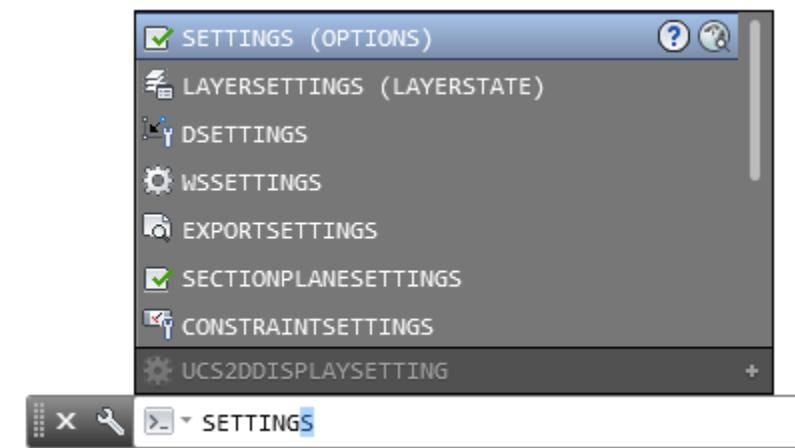
AutoCAD 2014 のコマンドライン インタフェースは、コマンドやシステム変数に、よりスマートに、より効率的にアクセスできるよう強化されました。また、コマンドラインを使用して、ハッチング パターンや表示スタイル、インターネット ヘルプなどのコンテンツを見つけることができるようになっています。

自動修正

AutoCAD 2014 のコマンド ラインは、自動修正をサポートしています。コマンドを間違って入力した場合、「不明なコマンド」と表示されるのではなく、最も可能性の高い有効な AutoCAD コマンドに自動修正されます。たとえば、間違って TABLE と入力しても、TABLE[表]コマンドが自動的に起動されます。

オートコンプリート

コマンド入力時のオートコンプリートは、AutoCAD 2014 で部分文字列検索をサポートするよう強化されました。たとえば、コマンドラインに SETTING と入力すると、SETTING という文字列から始まるコマンドだけでなく任意の場所に含まれるコマンドも候補リストに表示されます。



候補の最適化

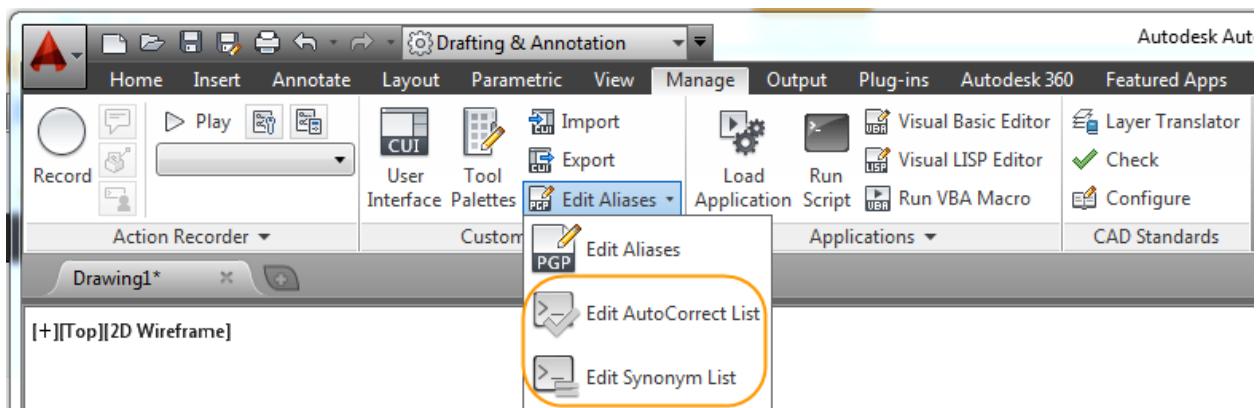
候補リストのコマンドは、当初は一般的なユーザの使用順序に従って表示されます。AutoCAD 2014 を使い続けるうちに、候補リストのコマンドの順序は、ユーザ自身の使用傾向に沿って最適化されます。コマンドの使用データは、ユーザごとにプロファイルに格納され、最適化されます。

同義語候補

コマンド ラインには、組み込み済みの同義語リストがあります。コマンド ラインに文字列を入力すると、その文字列が同義語リストに見つかった場合は、そのコマンドが返されます。たとえば、Symbol と入力すると、INSERT[ブロック挿入]コマンドが返され、ブロックを挿入することができます。または、Round と入力すると、FILLET[フィレット]コマンドが返され、コーナーにフィレットを施すことができます。

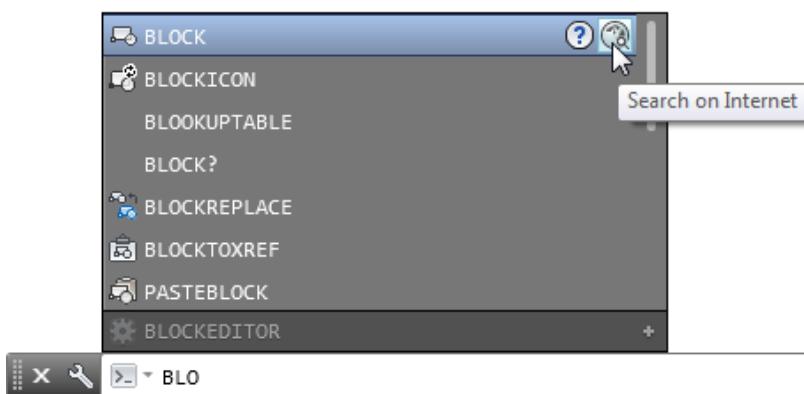


[管理]リボン タブの[エイリアスを編集]ツールを使用して、自動修正リストと同義語リストに独自の単語を追加することができます。



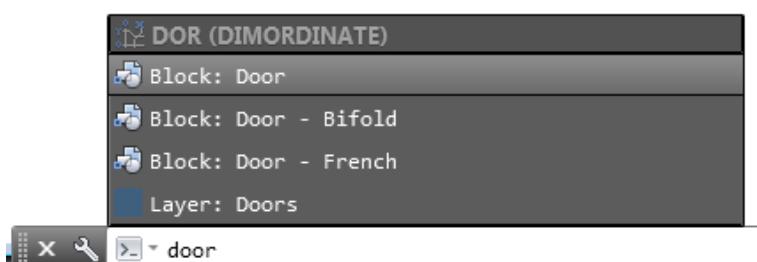
インターネット検索

AutoCAD 2014 では、候補リストのコマンドやシステム変数の詳細情報をすばやく検索することができます。候補リストのコマンドまたはシステム変数上にカーソルを移動し、[ヘルプで検索]または[インターネットで検索]アイコンを選択することで、関連情報の検索が可能です。インターネットで検索する場合には、現在の検索語の前に AutoCAD という語が自動的に付加されます。



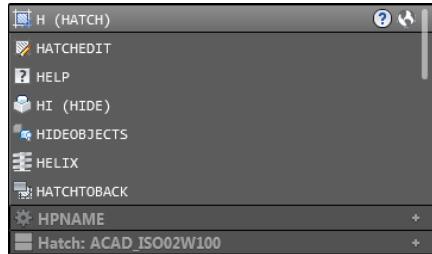
コンテンツ

AutoCAD 2014 のコマンドラインを使用することで、画層、ブロック、ハッチング パターンとグラデーション、文字スタイル、寸法スタイル、表示スタイルにアクセスすることができます。たとえば、現在の図面に Door という名前のブロック定義が存在している場合、コマンドラインに Door と入力することにより、候補リストから目的のブロックをすばやく挿入することができます。



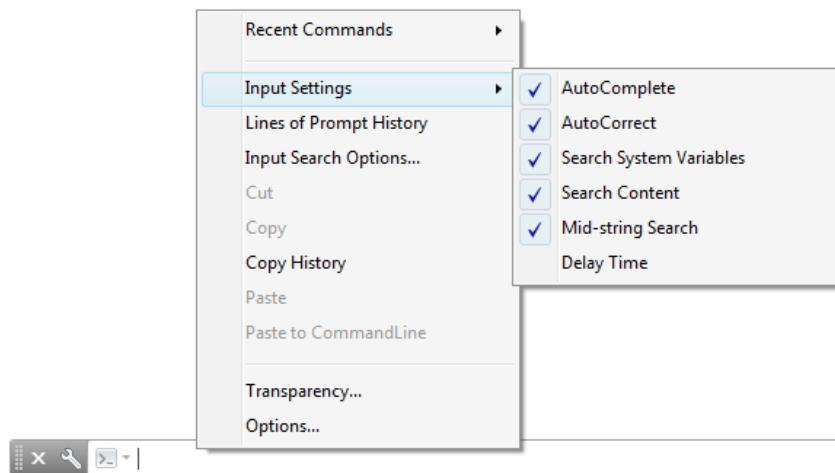
分類

候補リストを簡単にナビゲートできるよう、システム変数とその他のコンテンツは展開可能な分類項目に編成されています。分類項目を展開して結果を表示したり、[Tab]キーを押すことによって分類項目を順に切り替えることができます。

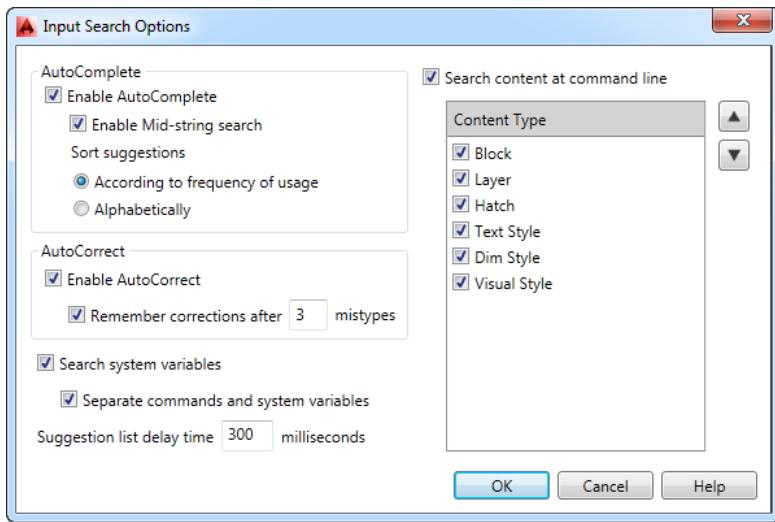


入力設定

コマンド ラインを右クリックしたときの[入力設定]メニューのコントロールを使用して、コマンド ラインの動作をカスタマイズすることができます。[オートコンプリート]および[システム変数を検索]を有効にする従来からのオプションに加えて、[自動修正]、[コンテンツを検索]、[部分文字列検索]を有効にすることができます。これらのオプションは、既定ではすべてオンになっています。



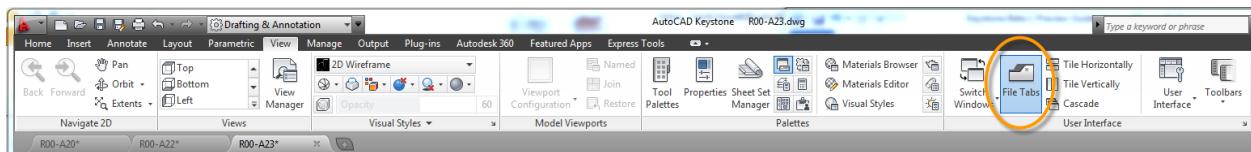
他の右クリック オプションを使用して、新しい[入力検索オプション]ダイアログ ボックスにアクセスすることができます。



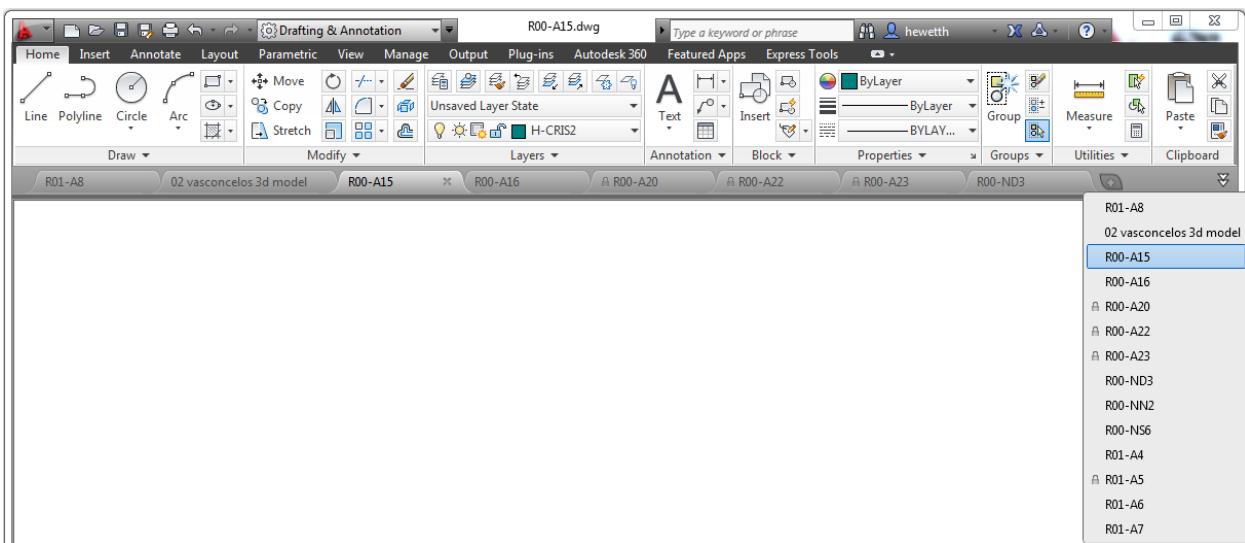
自動修正、部分文字列検索、最適化候補など、コマンド ラインの新機能の大部分は、ダイナミック入力でも使用可能です。

ファイルタブ

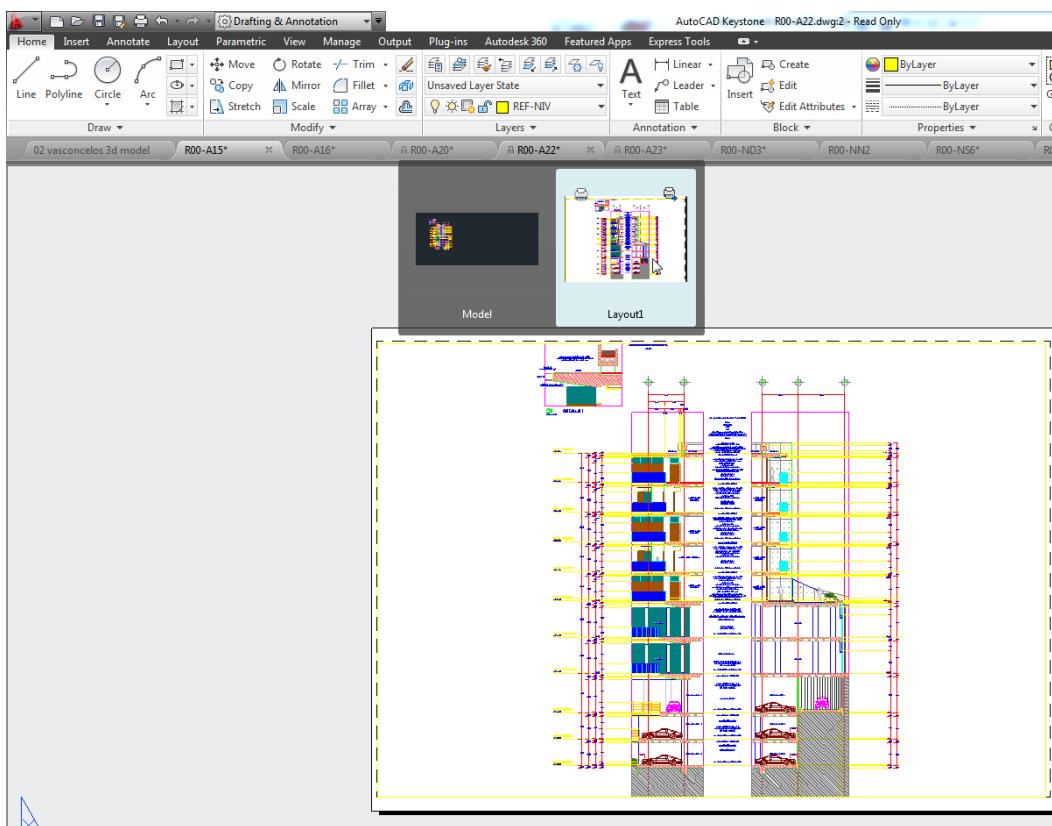
AutoCAD 2014 に用意された図面タブを使うと、すばやく視覚的に、開いている図面を切り替えたり新しい図面を作成することができます。ファイルタブバーの表示/非表示は、[表示]リボン タブの[ファイルタブ]コントロールを使用して切り替えることができます。[ファイルタブ]をオンにすると、開いている図面のタブが作図領域の上部に表示されます。



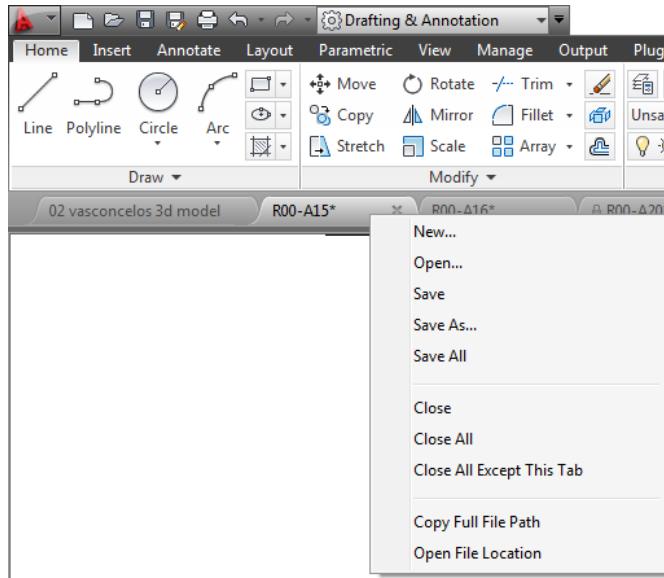
ファイルタブは、開いた順に表示されますが、タブをドラッグ アンド ドロップすることで、順序を変更することもできます。領域内にファイルタブが入りきらない場合、それらのファイルにアクセスするためのメニューがファイルタブバーの右端に表示されます。



タブ上の鍵のアイコンは、ファイルが読み込み専用として開かれていることを示し、アスタリスクはファイルが最後に保存されてから修正されたことを示します。ファイルタブにカーソルを移動すると、モデルとレイアウトのプレビューイメージが表示されます。プレビューイメージの1つにカーソルを移動すると、対応するモデルまたはレイアウトが一時的に作図領域に表示され、プレビューイメージから[印刷]および[パブリッシュ]ツールにアクセスできます。



ファイルタブの右クリックメニューを使用して、ファイルを作成、開く、保存、閉じることができます。右クリックしたファイル以外の開いているすべてのファイルを閉じることもできます。図面ファイルの絶対パスをクリップボードにコピーしたり、Windows Explorerでファイルの場所を開くこともできます。



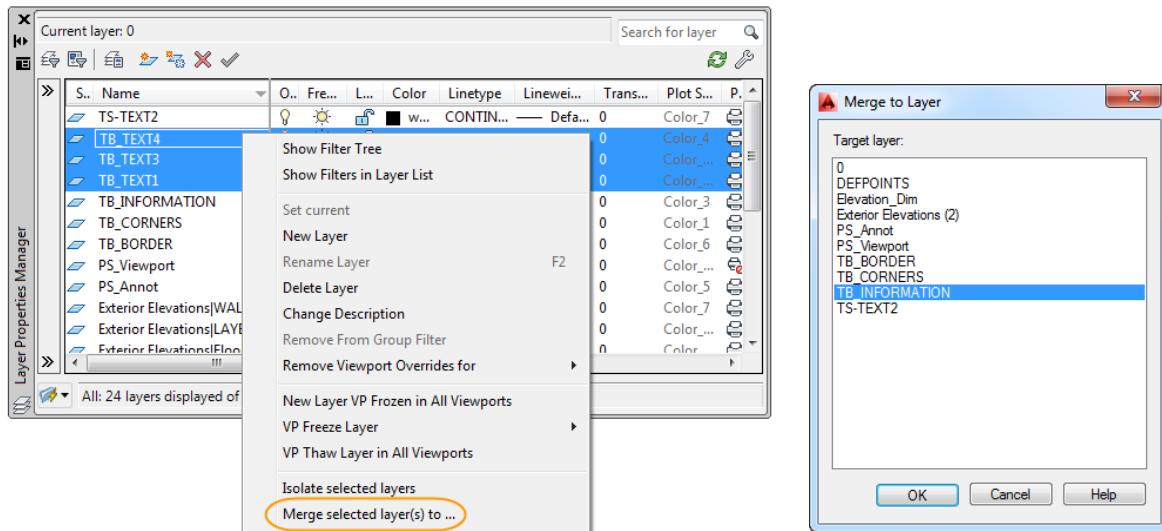
図面タブの右側のプラス(+)アイコンを使用して新規図面を簡単に作成できます。新規図面を作成すると、そのタブが自動的に追加されます。



画層管理

リボンに表示される画層の数が増加しました。また、自然なソート順で、画層が表示されるようになりました。たとえば、画層名 1、4、25、6、21、2、10 は、1、10、2、25、21、4、6 と並ぶのではなく、1、2、4、6、10、21、25 と並ぶようになりました。

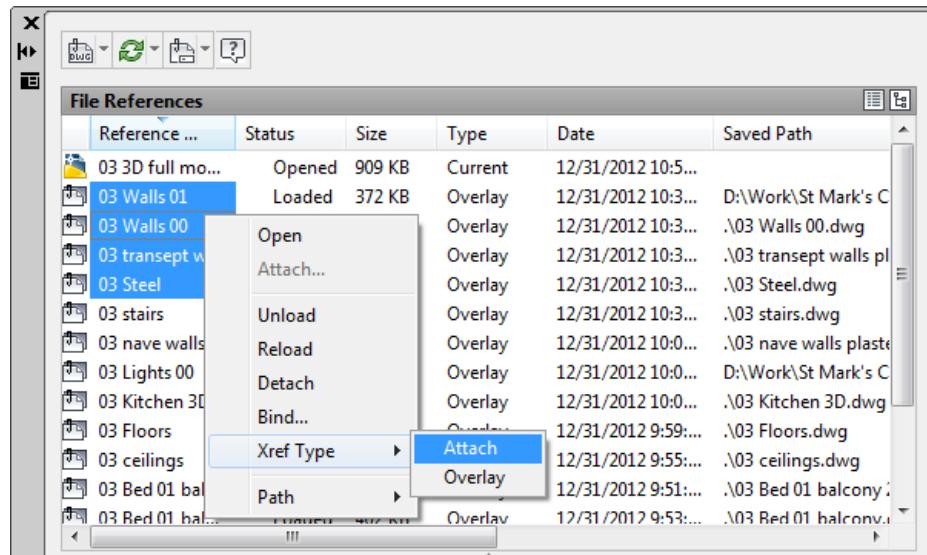
[画層プロパティ管理]の新しい[合成]オプションを使用することにより、画層一覧で 1 つまたは複数の画層を選択し、それらの画層上のオブジェクトを別の画層に合成することができます。元の画層は図面から自動的に名前削除されます。



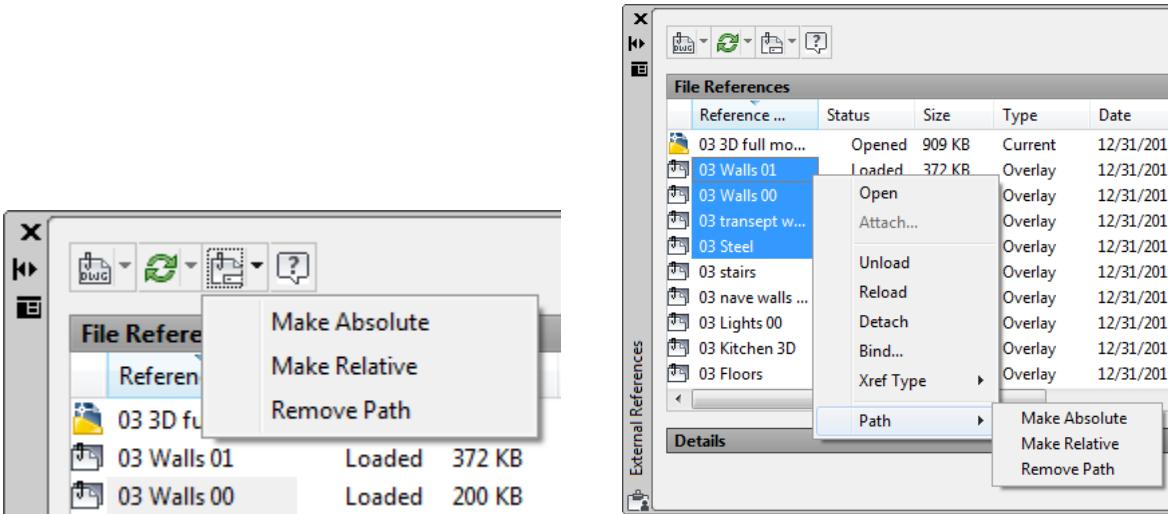
外部参照の機能強化

外部参照図面の線種と画層の表示は、AutoCAD 2014 で強化されました。外部参照の線種は、リボンや[プロパティ]パレットの[線種]リストに表示されません。外部参照の画層は、表示/非表示をコントロールできるようリボンに表示されますが、[プロパティ]パレットには表示されません。

[種類]列をダブルクリックすることにより、外部参照のアタッチの種類をアタッチとオーバーレイ間で簡単に変更することができます。右クリックメニューの新しいオプションを使用して、選択した複数の外部参照の種類を一度に変更することができます。



[外部参照]パレットには、選択した外部参照のパスを、絶対パスと相対パス間で簡単に変更できるツールが含まれています。パスを完全に除去することもできます。-XREF[外部参照]コマンドには、スクリプトを使用してこれらのパスの変更を自動化するための新しい[パスのタイプ(T)]オプションがあります。



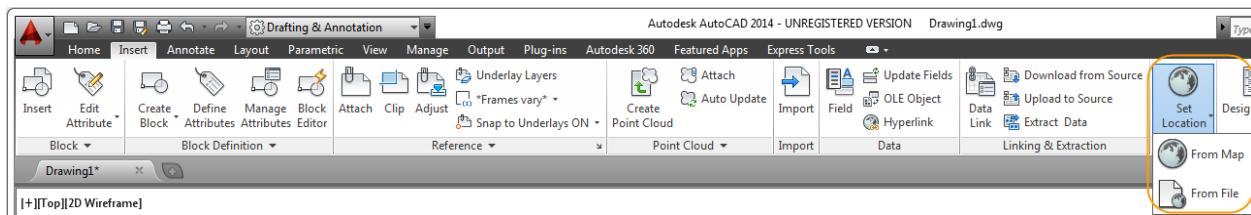
デザインの探求

地理的位置

AutoCAD 2014 では、地理的位置が画期的に強化されました。これには、AutoCAD Map 3D および新しい Autodesk Live Map と同じ座標系ライブラリが含まれます。

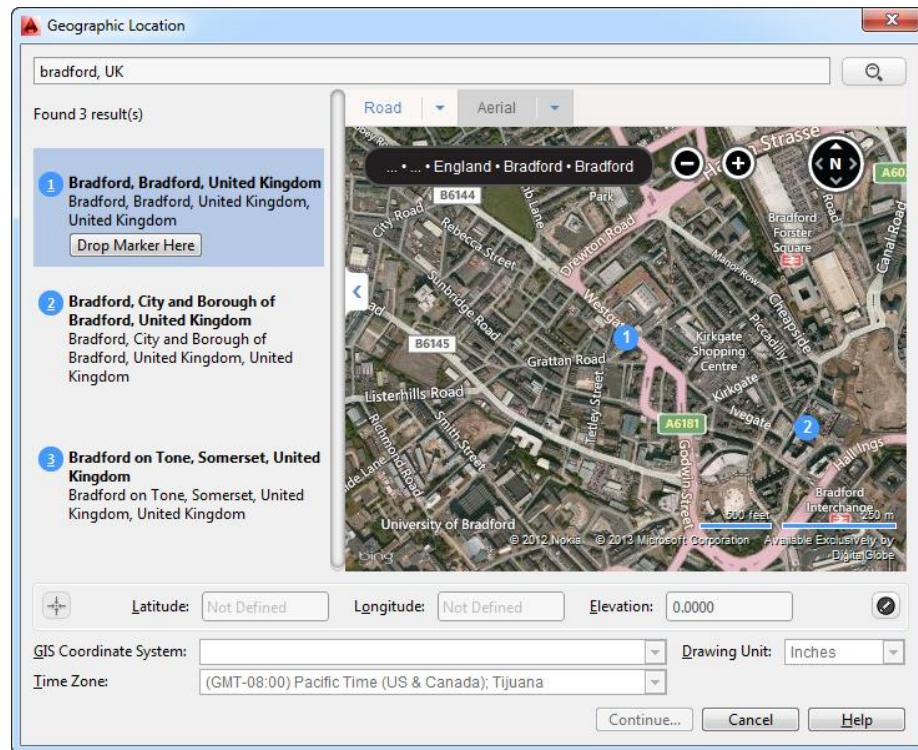
図面に地理的位置を定義すると、多くの利点があります。地理的位置が設定された図面に地理的位置データを読み込むと、図面の地理的位置に基いてデータが変換されます。その地理的位置の状態で設計を確認することができ、モデルをレンダリングする際に正しい太陽の角度が得られます。Google Earthなどの地図サービスに図面を書き出すと、自動的に正しい位置に表示されます。地理参照されたイメージやブロックを地理参照された図面に読み込むと、自動的に正しい尺度に調整され、正しい位置に配置されます。たとえば、住宅地プロジェクトのように、複数の設計者が同じ設計で互いに独立して作業する巨大プロジェクトがあるとします。各設計者が同じ座標系を使用した場合、すべての図面を1つのファイルに結合すると、それぞれの図面は適切な位置に挿入されます。論理的な地理的位置に対応する点がわかっている図面に、重要な特定の点をマークすることができます。また、コンピュータで GPS デバイスが使用できる場合は、図面にユーザ自身の現在の位置を表示し、歩きながら位置をマークすることもできます。たとえば、造園家は現地調査の際、周囲の状況を図面にマークしながら環境を記録することができます。

地理的位置は、[挿入]リボン タブの[位置を設定]ツールを使用して図面に設定することができます。Autodesk Map Service を使用して位置を設定するか、KML または KMZ ファイルを選択して位置を設定するかを選択します。

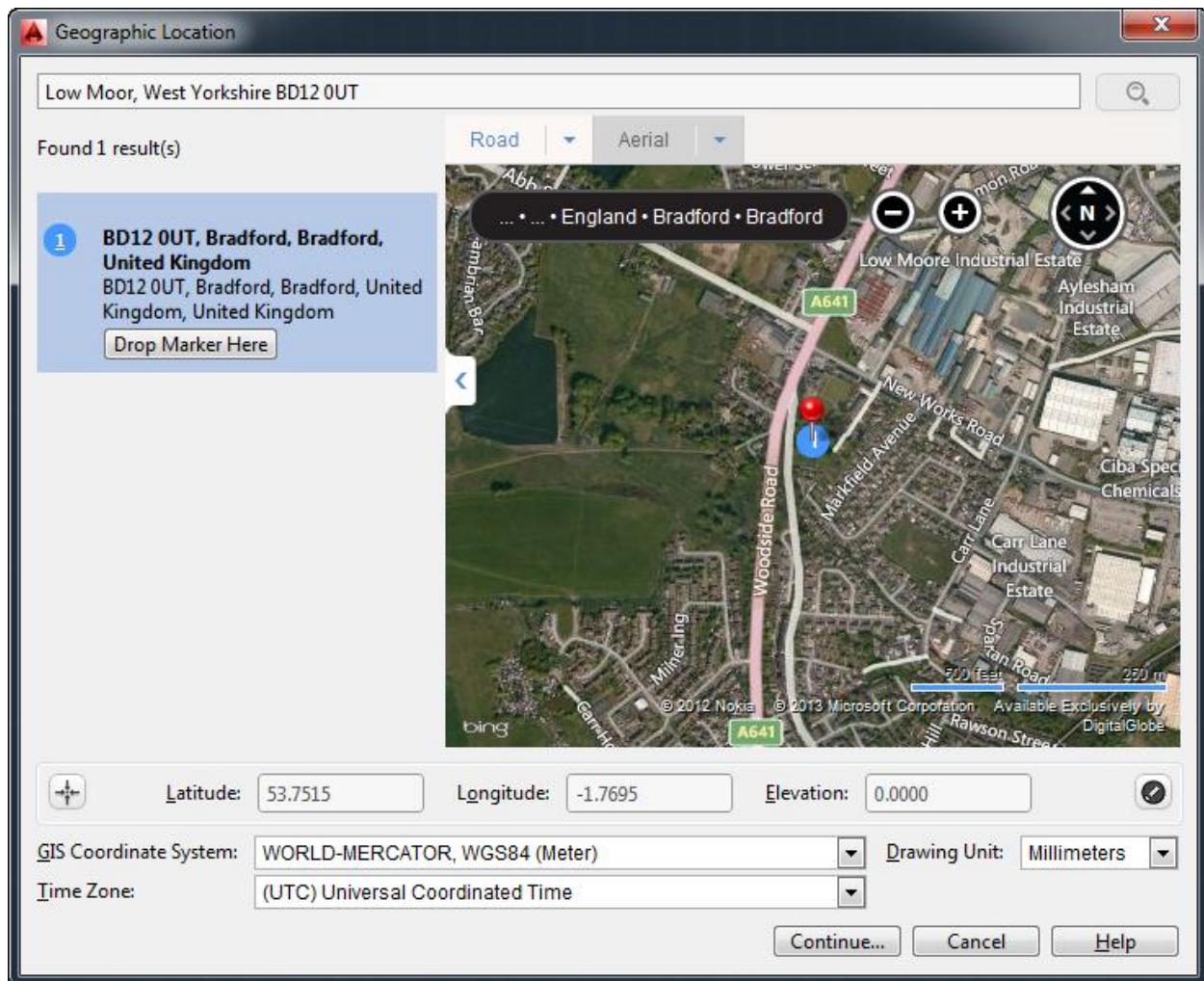


Autodesk Map Service は、Autodesk 360 アカウントにサイン インすると、AutoCAD 2014 から自動的に使用可能になります。

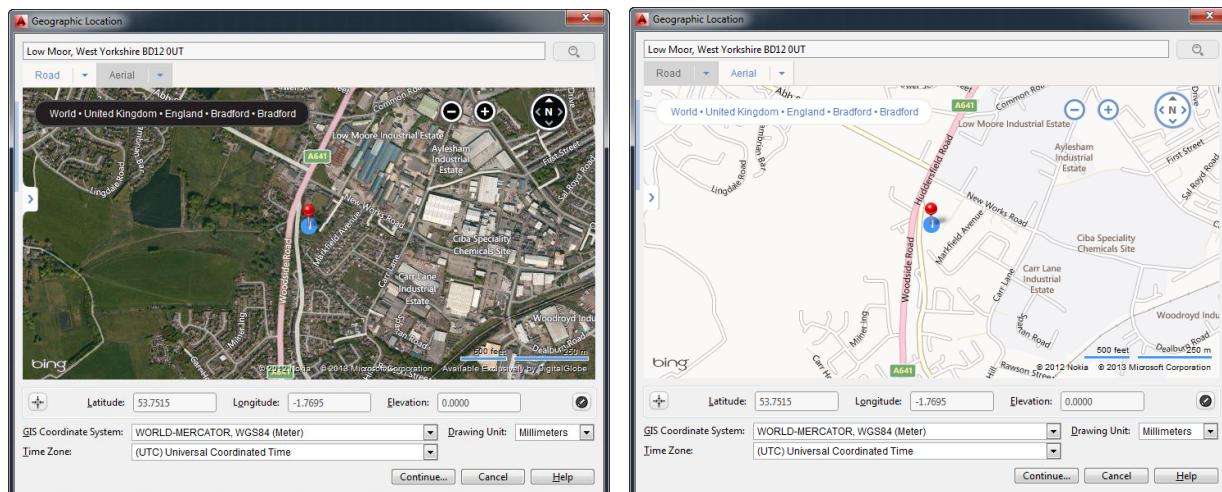
検索した地図から地理的位置を指定する場合には、住所または緯度と経度を検索することができます。複数の結果が見つかった場合は、結果リスト内のいずれかをクリックして適切な地図を表示し、道路地図または航空写真データとして地図を表示することができます。



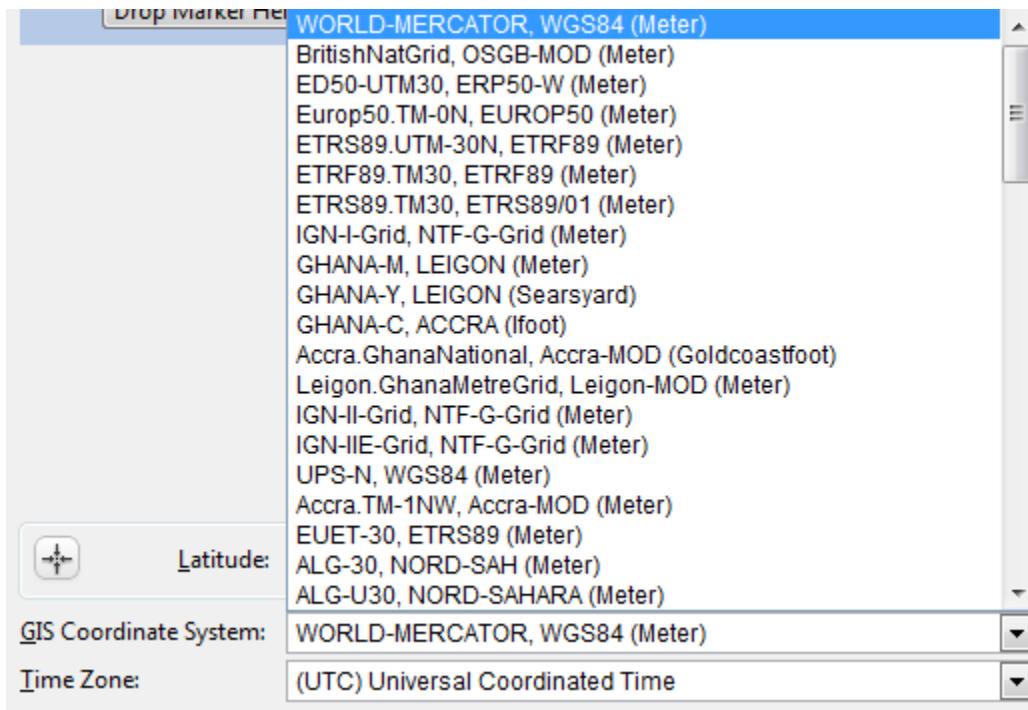
正確な位置を特定できたら、マーカーを置くことで、図面上にその位置を指定することができます。地図にピンを配置すると、対応する緯度、経度、タイムゾーンが自動的に適用されます。必要に応じてピンを移動したり、位置プロパティを修正することができます。高度の右側のアイコンは、緯度と経度の手動による編集をロック解除します。



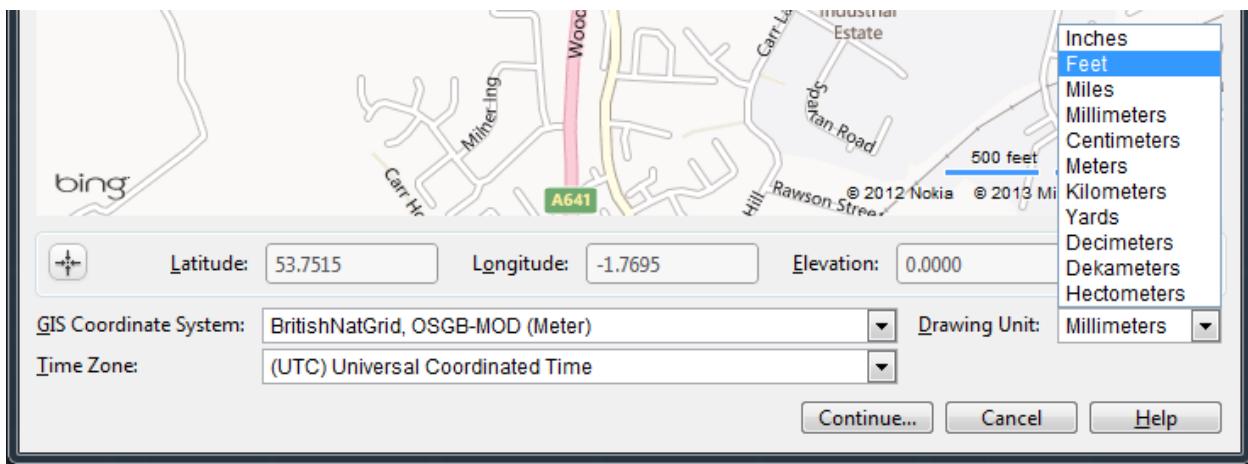
結果パネルを折りたたむと、地図が最大化され、道路地図と航空写真を簡単に切り替えることができます。



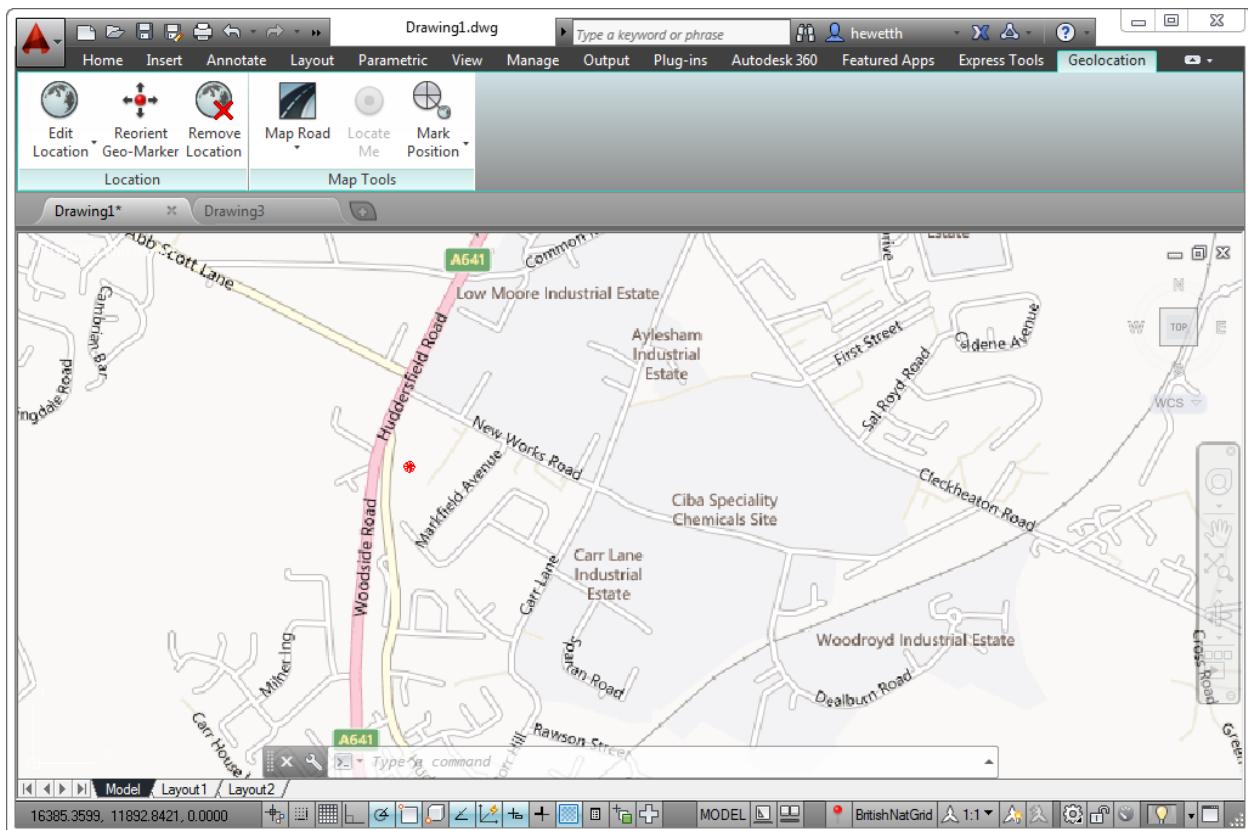
AutoCAD 2014 では既定の座標系として WORLD-MERCATOR, WGS84 を使用しますが、ライブラリから任意の座標系を選択することもできます。座標系により、地図の縮尺が定義されます。



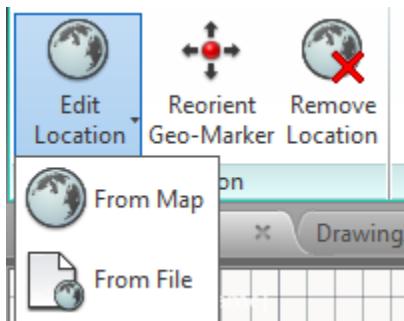
[地理的位置]ダイアログ ボックスに現在の作図単位が自動的に表示されますが、標準単位のリストから選択することもできます。挿入された地図は、指定した作図単位に合わせて自動的に尺度調整されます。



地図を図面に適用すると、その地図は常に図面のジオメトリの下に表示されます。地図を使用して地理的位置を適用したか、KML/KMZ ファイルを選択することによって地理的位置を適用したかにかかわらず、図面内の指定した点に地理マーカーが表示され、リボンに新しい[地理的位置]タブが追加されます。

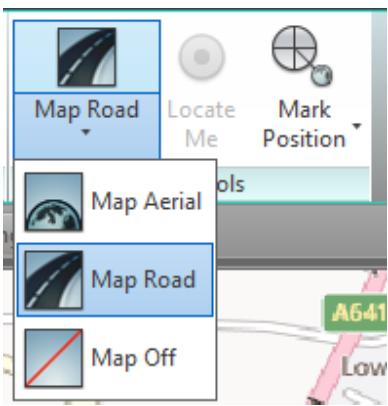


[地理的位置]リボン タブには、地理的位置とマップ表示を修正するためのツールが含まれています。Autodesk Map Service を使用するか、KML または KMZ ファイルを選択することによって、別の場所を指定することができます。新しい場所と北方向を指定することによって、地理マーカーの位置を変更することができます。位置データと割り当てた座標系を図面から完全に除去することもできます。

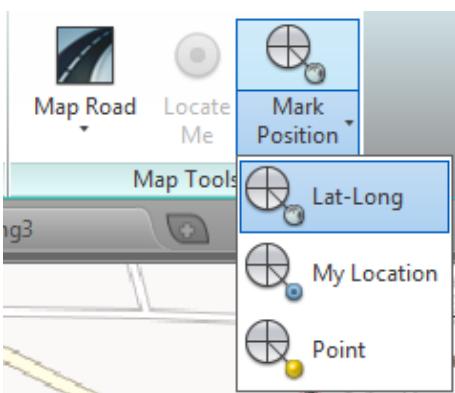


航空写真と道路地図を簡単に切り替えたり、地理的位置と座標系データを保持したまま地図を非表示にすることができます。

GPS 機能付きのラップトップコンピュータで作業している場合、[自分の位置を表示]ツールを使用して、ユーザの現在の位置をマップに表示することができます。



緯度経度データを入力するか、現在の位置を使用するか(GPS 機能付きデバイスの場合)、点を指定することにより、図面内に位置をマークすることができます。それぞれの位置には、位置を説明するテキストを入力することができます。



リアリティ キャプチャ

リアリティ キャプチャを使用して、オブジェクト、地形、建築物、都市全体ですらも、それらの 3D レーザースキャンを行い、点群データとして AutoCAD 図面にアタッチすることができます。その後、設計作業の実世界参照として使用することができます。この点群データは、3D 空間の何千、何百万もの点として保存されます。

Autodesk ReCap

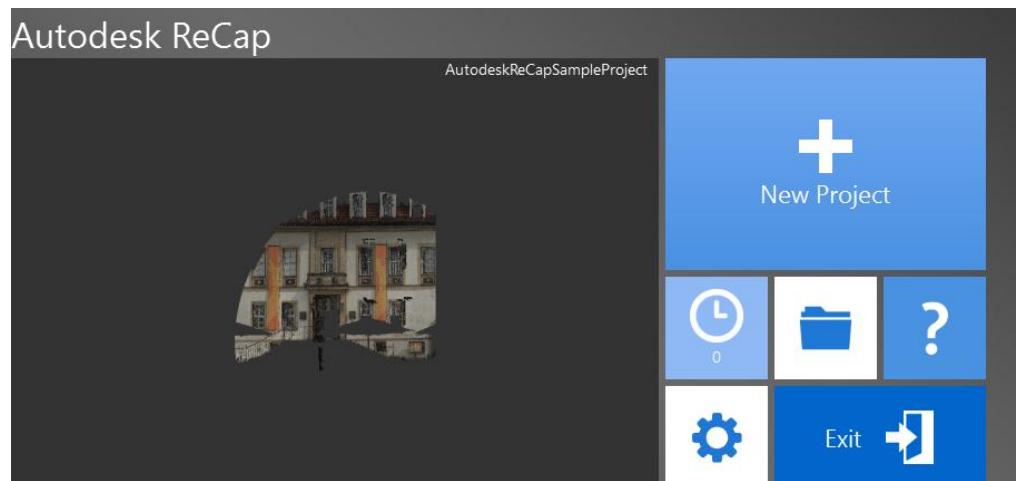
Autodesk ReCap は、複数のインデックス化されたスキャン ファイル(RCS)を参照する点群プロジェクト ファイル(RCP)を作成する独立したアプリケーションです。Autodesk ReCap は既定で AutoCAD 2014 と共にインストールされます。Windows の[スタート]メニュー、または Autodesk ReCap のデスクトップアイコンから起動することができます。



Autodesk
ReCap

Autodesk ReCap を使用して、スキャン ファイル データを、他の製品で表示したり編集できる点群形式に変換することができます。Autodesk ReCap は、ユーザの指示に従ってスキャン ファイルを集めて、クリーンアップ、区分け、空間的な並べ替え、圧縮、計測やビジュアライズなど、巨大なデータセットを処理します。高速フォーマットの結果は、AutoCAD および Autodesk Revit や Autodesk Inventor などのオートデスク アプリケーションで使用することができます。

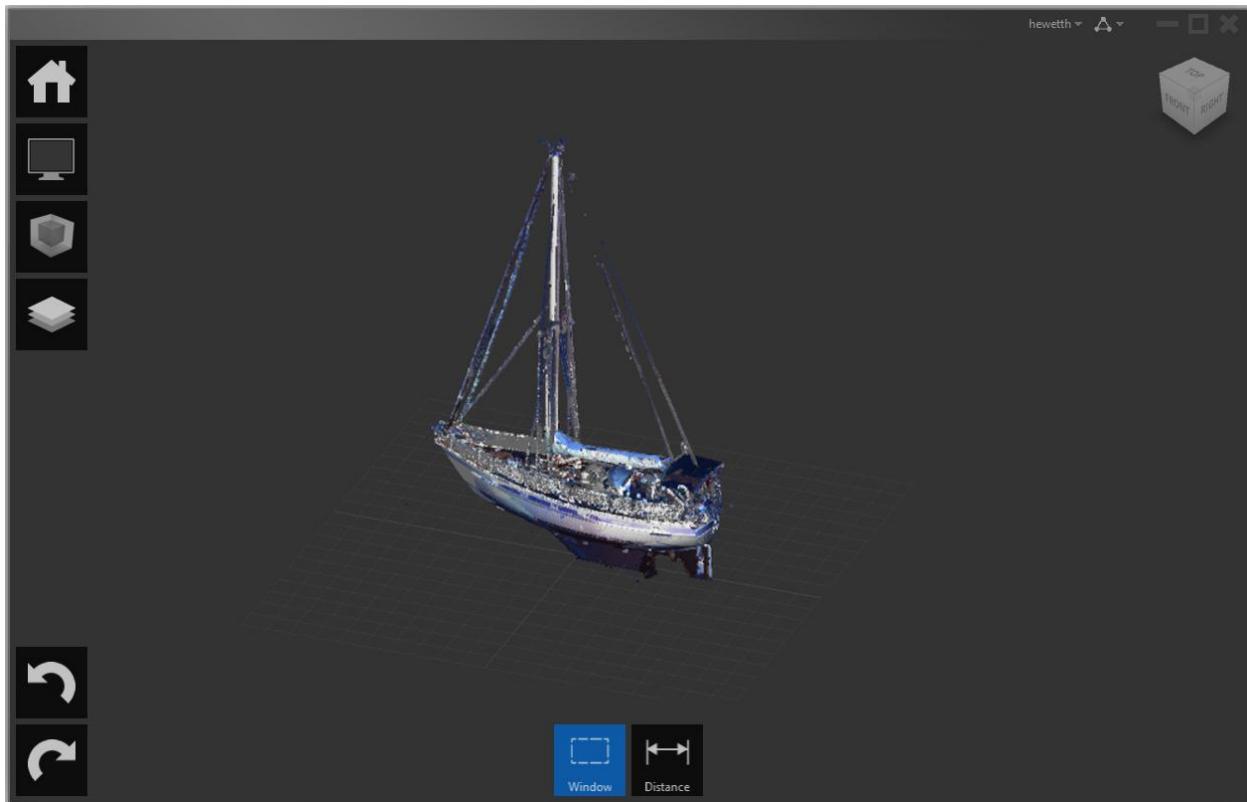
Autodesk ReCap を使用するには、Autodesk 360 アカウントにログインする必要があります。Autodesk ReCap では、読み込むスキャン ファイルを選択することで、新しいプロジェクトを作成することができます。



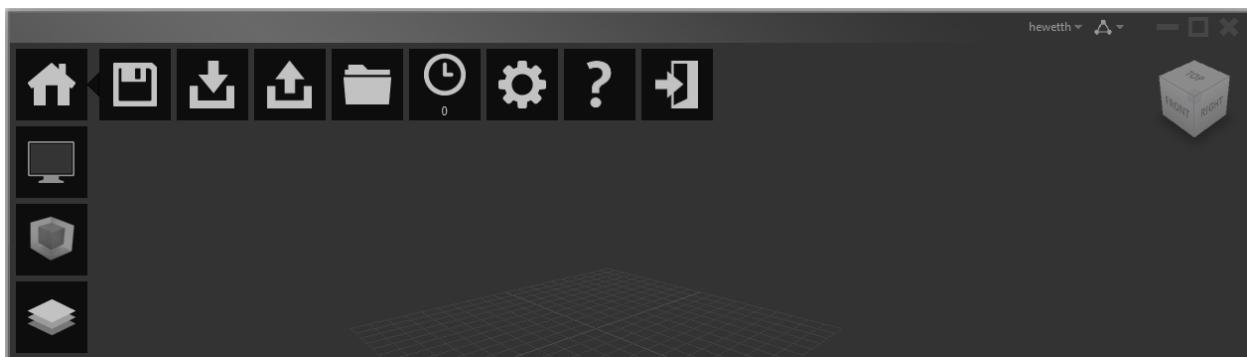
Faro、Leica、LiDAR など、Autodesk ReCap は多くの一般的な形式のスキャン データファイルに対応しています。

All Supported Files (*.rcs;*.fls;*.fws;*.lsproj;*.pts;*.ptg;*.ptx;*.zfs;*.zfprj;*.las;*.xyz;*.txt;*.asc;*.cl3;*.clr;*.e57;*.rds;*.pcg;*.xyb)
Autodesk ReCap Scans (*.rcs)
Faro FLS Files (*.fls)
Faro FWS Files (*.fws)
Faro Project Files (*.lsproj)
Leica PTG Files (*.ptg)
Leica PTS Files (*.pts)
Leica PTX Files (*.ptx)
Lidar LAS Files (*.las)
Zoller&Frohlich ZFS Files (*.zfs)
Zoller&Frohlich ZFPRJ Files (*.zfprj)
Ascii ASC Files (*.asc)
TopCon CL3 Files (*.cl3)
TopCon CLR Files (*.clr)
E57 Files (*.e57)
Riegl Files (*.rds)
Text Files (*.txt)
XYZ Files (*.xyz)
Autodesk Point Cloud (*.pcg)
Autodesk Point Cloud (*.xyb)

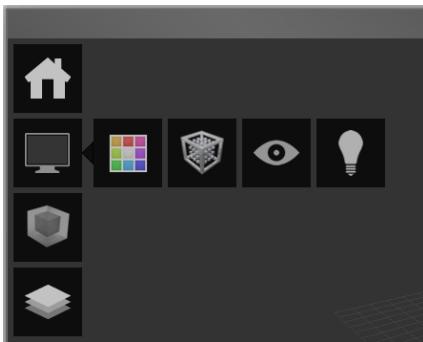
読み込むスキャンファイルを選択した後、点群のサイズと外観に影響する読み込み設定を調整することができます。読み込まれたファイルは、各種のツールを使用してスキャンファイルで作業できるプロジェクトスクリーンに表示されます。



[ホーム] タイル メニューを使用して、プロジェクトに関する各種の機能にアクセスすることができます。現在のプロジェクトを点群プロジェクトファイル(RCP)として保存したり、点群スキャンファイル(RCS)に書き出すことができ、どちらも AutoCAD 図面にアタッチすることができます。追加のスキャンファイルを現在のプロジェクトに読み込んだり、別のプロジェクトを開くことができます。[基本設定]ツールを使用してプロジェクトの設定を修正したり、[ヘルプ]ツールを使用して Autodesk ReCap の操作の詳細情報を表示することができます。



[表示設定]タイル メニューには、点群を解析するツール、外観を変更するツール、作業領域のコンポーネントの表示を修正するツール、および照明オプションを指定するツールが用意されています。



[範囲ボックス]タイル メニューには、シーン内に別の立体空間を定義する範囲ボックスで作業するためのツールが用意されています。



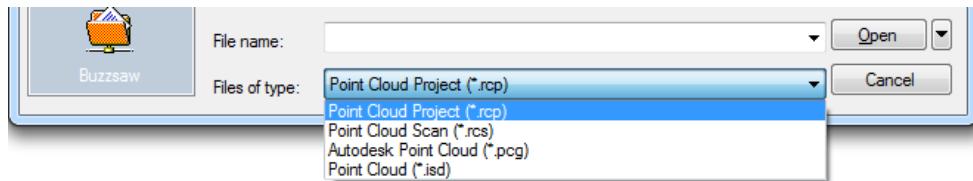
[プロジェクトナビゲータ]タイル メニューには、スキャン領域や個々のスキャンファイルへのワンストップアクセスが用意されています。[プロジェクトナビゲータ]を[プロジェクト]タイル メニューにアタッチしておくことにより、その上にカーソルを移動したとき、またはその中に作業しているときにのみ表示されるようになります。作業時に開いておきたい場合は、タイル メニューからアタッチ解除し、プログラムの作業領域上または離れた場所に移動します。



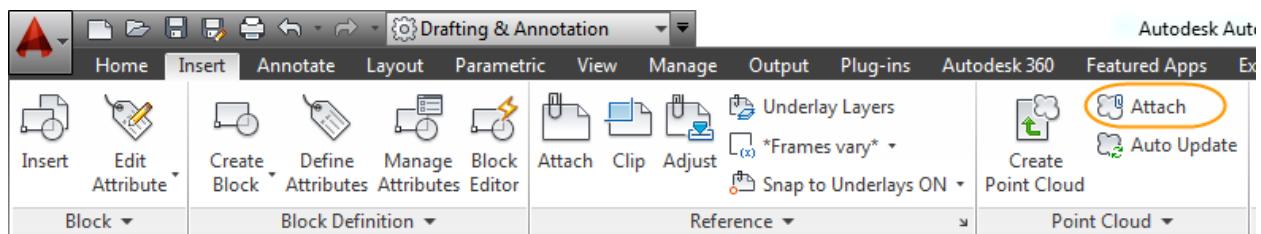
点群ファイルを作成した後や、他のユーザからファイルを受信した場合は、AutoCAD の図面にそれらをアタッチすることができます。

AutoCAD 点群のサポート

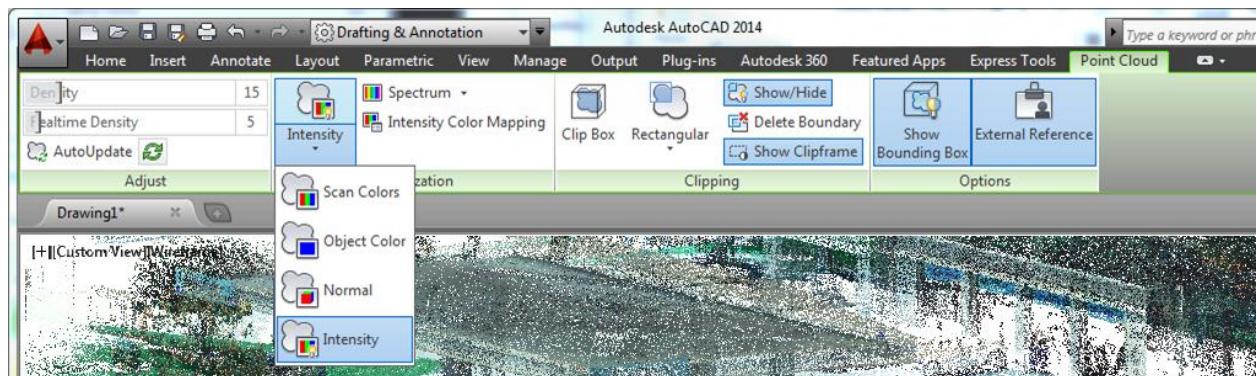
AutoCAD 2014 の点群機能が強化され、これまでサポートされていた PCG、ISD 形式に加え、Autodesk ReCap により生成される点群プロジェクト(RCP)やスキャンファイル(RCS)を挿入できるようになりました。



[挿入]リボンタブの[点群]パネルで[アタッチ]ツールを使用して点群ファイルを選択することができます。



点群データをアタッチした後、点群オブジェクトを選択した際に表示されるコンテキストタブで点群オブジェクトを操作しやすくなるよう強化されました。点群オブジェクトのスタイル設定(カラー化)を変更することができ、スキャンカラー(スキャナでキャプチャされた色)、オブジェクトカラー(オブジェクトに割り当てられた色)、点の標準方向に色づけされた法線、または強度(点の反射率の値)をベースに点群を色づけすることができます。法線や強度データがスキャンでキャプチャされていない場合は、これらのスタイル設定は無効になります。また、点群をクリップしやすくするためにクリッピングツールがリボンに表示されます。



大きな点群で作業する場合、ビューが変更されるたびに点群オブジェクトの表示が自動的に更新されるのを避け、パフォーマンスを向上するため、自動更新は既定でオフになっています。手動で点群を更新するには、[更新]ボタンを使用します。

ドキュメント

図面の機能強化

AutoCAD 2014 では、より効率的に図面を作成できるよう、図面の各種機能が強化されました。

円弧

作図時に[Ctrl]キーを押して方向を切り替えることにより、どちら回りにも簡単に円弧を描くことができます。

ポリライン

AUGI 要望リストで要望があったポリラインの自己に対するフィレット、つまり閉じたポリラインの作成機能は、AutoCAD 2014 で実現しました。

シートセット

シートセットに新しいシートを作成するとき、関連付けるテンプレート(.dwt)の[作成日]フィールドには、テンプレートファイルの作成日ではなく、新しいシートの作成日が表示されます。

印刷スタイル

CONVERTPSTYLES[印刷スタイル変換]コマンドを使用して、現在の図面を名前の付いた印刷スタイルまたは色従属印刷スタイルに変換することができます。AutoCAD 2014 では、スペースが含まれた印刷スタイル名にも対応するよう強化されました。

注釈の機能強化

属性

属性が含まれたブロックを挿入するときの既定の動作は、コマンド ラインからの属性値の入力ではなく、ダイアログ ボックスから入力に変更されました。つまり、システム変数 ATTDIA の値は、1 に設定されています。

文字

1 行文字は、位置合わせの設定を変更しない限り、最後に行った位置合わせの設定が保持されるよう強化されました。

寸法記入

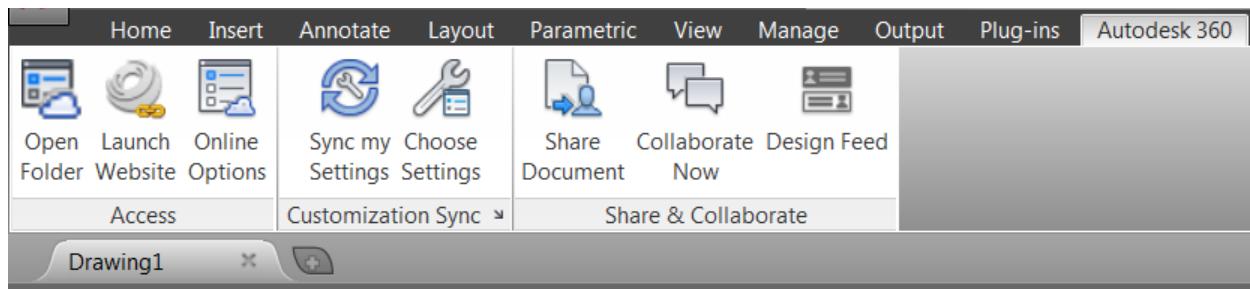
新しいシステム変数 DIMCONTINUEMODE を使用することで、直列寸法または並列寸法を記入する際に、より多彩にコントロールすることができます。DIMCONTINUEMODE を 0 (ゼロ)に設定すると、DIMCONTINUE[直列寸法記入]および DIMBASELINE[並列寸法記入]コマンドは、現在の寸法スタイルに基づいて寸法を記入します。1 に設定すると、選択した寸法の寸法スタイルが適用されます。

ハッチング

リボンの[ハッチング]ツールは、直前に使用したハッチングするオブジェクトの選択方法([内側の点を指定]または[オブジェクトを選択])を保持します。[元に戻す(U)]オプションが、コマンド ラインに追加されました。

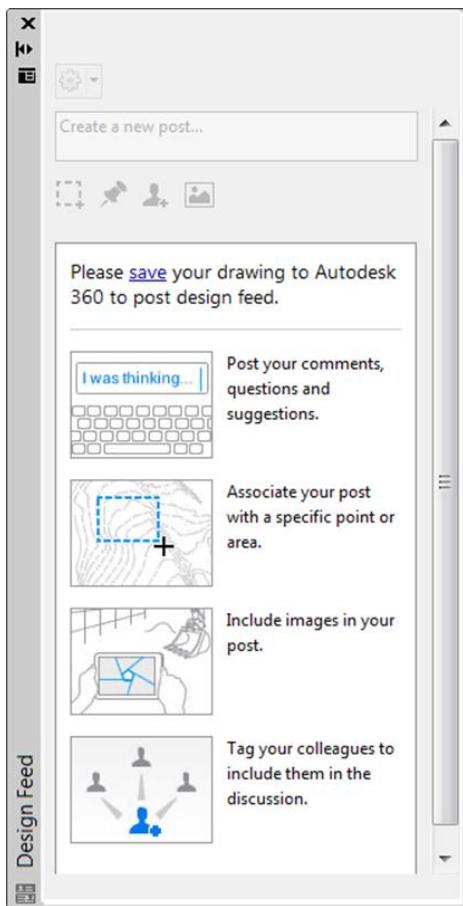
接続

AutoCAD 2014 では、[オンライン]リボン タブの名前が、[Autodesk 360]に変更されました。このタブには、ユーザのローカル マシンから Autodesk 360 フォルダに簡単にアクセスするための[フォルダを開く]ツールや、オンラインで共有されている図面に投稿や写真を追加することができる新しい[設計フィード]があります。

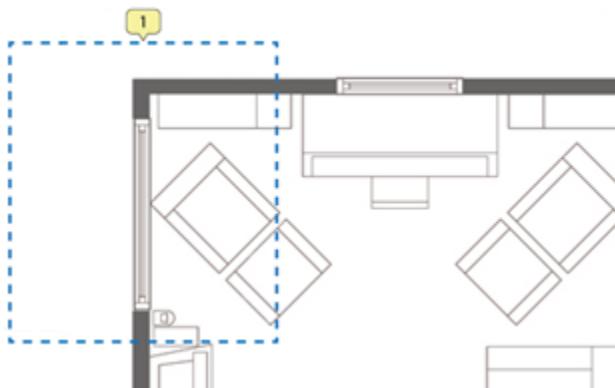


設計フィード

[Autodesk 360]リボン タブからアクセスできる[設計フィード]には、テキスト メッセージを入力したり、イメージをアタッチできるパレットが表示されます。投稿したテキストやイメージは、Autodesk 360 を使用して同僚、顧客、コンサルタントなどとオンラインで共有されます。投稿は、デスクトップ、Web、および各種のモバイル デバイスで、関連付けられた図面と共に表示することができます。



投稿するメッセージを、図面内の位置または領域に関連付けることができます。次の例では、1番目の投稿は領域に関連付けられており、設計フィードのバルーンで示されています。[設計フィード]パレットの設定ボタンを使用して、バルーンの表示を変更することができます。



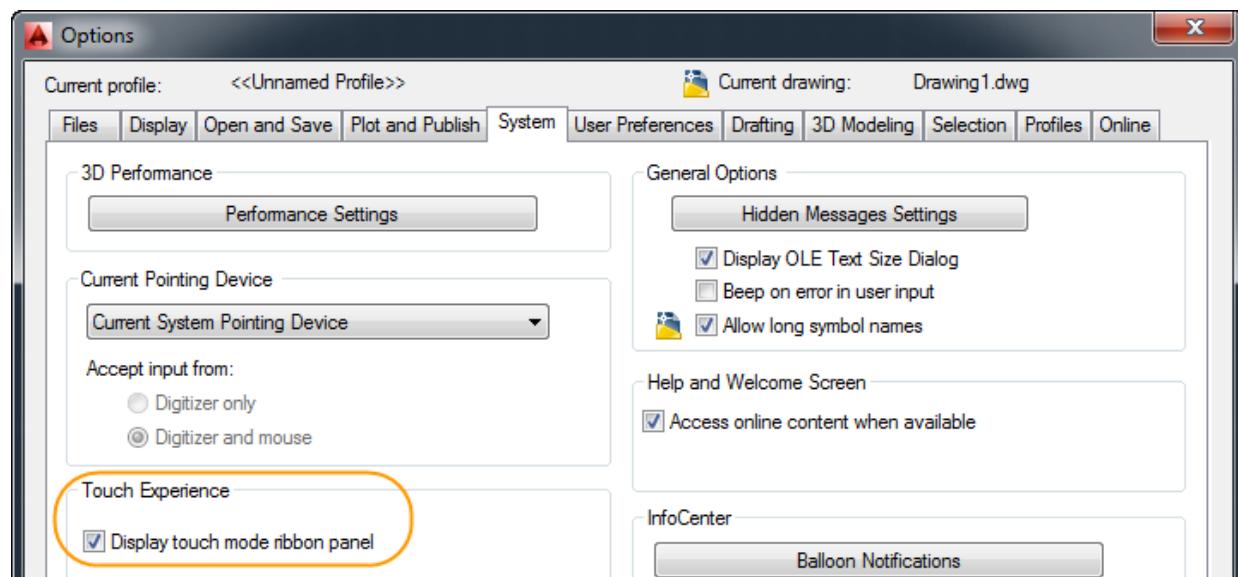
同僚、顧客、コンサルタントなどにタグ付けし、それらの人々に投稿を通知することができます。通知は電子メールで送信したり、AutoCAD に表示することもできます。

投稿の作成終了後、投稿はアタッチした写真とともに、図面と一緒にユーザの Autodesk 360 アカウントに保存されます。Autodesk 360 を使用して、ユーザが許可した人々は図面とそれに関連付けられた投稿を表示し、ユーザがタグ付けした人々は投稿に返信することができます。投稿内の質問とその返答が不要になった場合、スレッドを解決済にして、[設計フィード]パレットに表示されないようにすることができます。

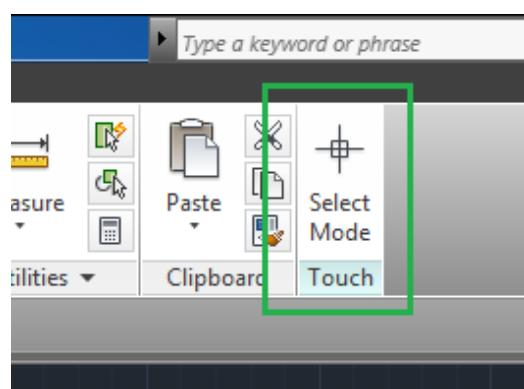
カスタマイズ

オペレーティング システム

AutoCAD 2014 は、Windows XP、Windows 7、Windows 8 に対応しています。Windows 8 タッチ デバイスを使用している場合、スムーズな画面移動とズーム機能でタッチ操作を利用することができます。[オプション]ダイアログ ボックスの[システム]タブには新しいコントロールが追加され、タッチ スクリーン デバイスが検出された場合にタッチ モード リボン パネルを表示するという設定も可能になりました。



[タッチ]リボン パネルを使用して、現在のコマンドをキャンセルしたり、選択/コマンド プロンプトに戻ることができます。



Exchange Apps

AutoCAD 2014 の既定のインストールにより、Autodesk Exchange から[注目アプリ]リボンタブ、[Exchange App Manager]、[SKP ファイルを読み込む]ツールなど、いくつかの役に立つアプリが追加されます。

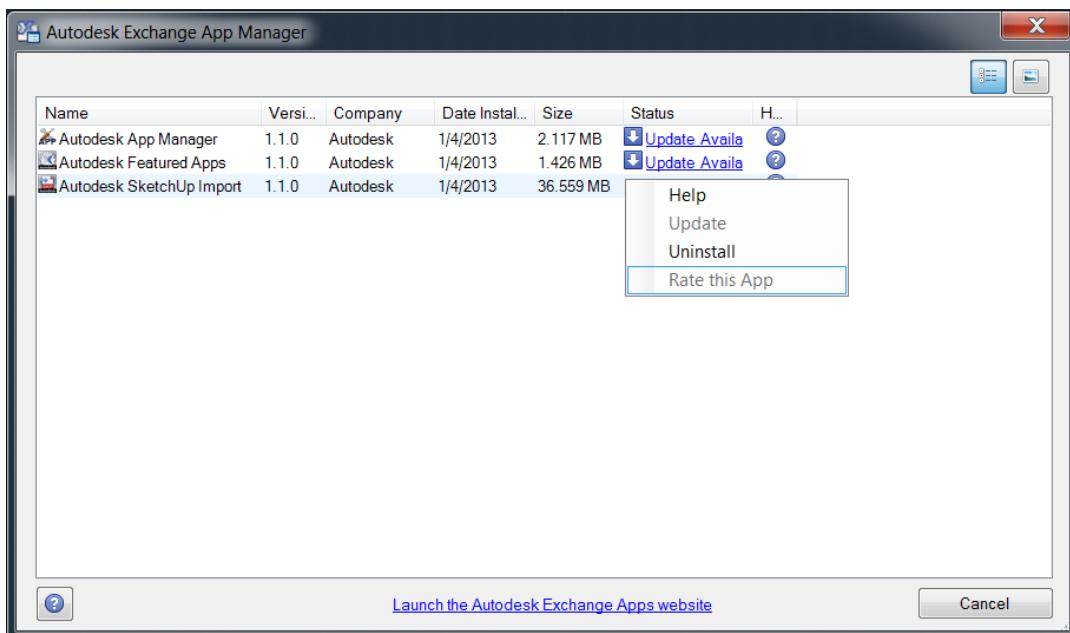
[注目アプリ]リボンタブから、AutoCAD アプリ(無償版、有償版)を参照およびダウンロードできる Exchange サイトに簡単にアクセスすることができます。また、Exchange サイト全体を閲覧せずに [注目アプリ]タブから直接選択してダウンロードできる注目アプリの選択機能も用意されています。



[Exchange App Manager]と[SKP ファイルを読み込む]ツールは、[プラグイン]リボンタブからアクセスすることができます。



[Exchange App Manager]を使用して、インストールされているアプリを簡単に表示して更新することができます。アプリをダブルクリックするか、右クリックメニューから[ヘルプ]を選択することにより、そのアプリの詳細情報を表示することができます。アプリの右クリックメニュー オプションを使用して、簡単にアプリをアンインストールしたり評価したりすることができます。



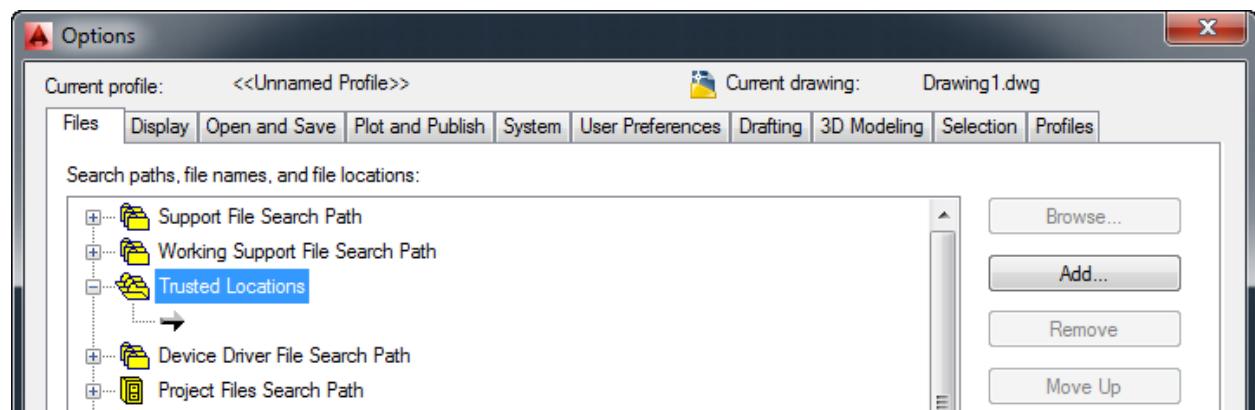
ヘルプ ブラウザのプロキシ サーバ

オンライン ヘルプへのアクセス、特にプロキシ サーバ使用時のオンライン ヘルプへのアクセスが強化されました。

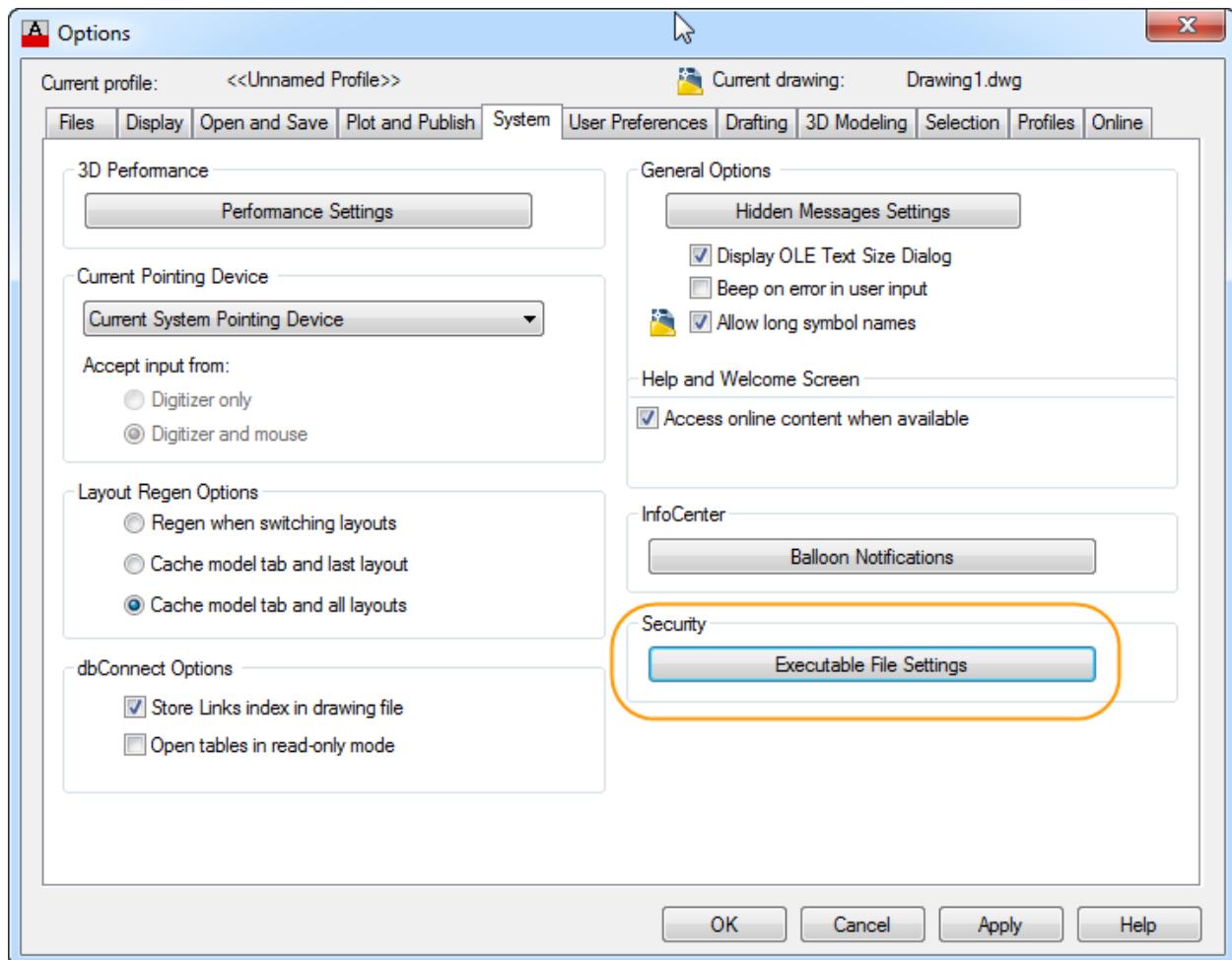
セキュアロード

AutoCAD 2014 には、ソフトウェアのセキュリティを強化し、許可されていない、または、安全でない AutoLISP や VBA アプリケーションのロードや実行を禁止する新しいコントロールが用意されています。

[オプション]ダイアログ ボックスの[ファイル]タブに、[信頼するファイルの検索パス]があります。これらのコントロールに、新しいシステム変数 TRUSTEDPATHS および TRUSTEDDOMAINS を使用してアクセスすることもできます。



[オプション]ダイアログ ボックスの[システム]タブのセキュリティコントロールを使用して、新しい[実行可能ファイルの設定]にアクセスすることができます。



実行可能ファイルを、すべての検索パスからロードしたり、[ファイル]タブで指定した信頼する場所からのみロードすることができます。信頼する場所以外から実行可能ファイルをロードする前に警告を表示するようにすることもできます。これらのオプションは、新しいシステム変数 SECURELOAD に適用されます。同様の機能は配置ウィザードにも追加され、ネットワーク配置にセキュアロード機能を適用できるようになりました。

